

女性医師の勤務環境の整備に関する講習会（和歌山県）

日 時	主催（共催）	講 師	主 題	参加 人数
2014年（平成26年） 2月15日（土） 14：30～	和歌山県医師会 （日本医師会・和歌 山県病院協会）	日医勤務医委員会 委員長・泉 良平	女性医師そして勤務医がいきい きと仕事を続けていくための勤 務環境整備	29人
2015年（平成27年） 1月20日（火） 18：00～	和歌山県医師会 （日本医師会・ 和歌山県立医科大 学）	東京医科大学医 師・学生研究者支 援センター長 大久保ゆかり	若い医師がキャリアを継続する ために必要な支援とは？	62人
2015年（平成27年） 11月21日（土） 15：00～	和歌山県医師会（日 本 医 師 会 ・ JOYJOYMeeting ・ 和歌山県眼科女性 医師の会	日本医師会理事 山本纈子	女性医師支援の必要性和臨床へ の復職支援の考え方	27人
2016年（平成28年） 1月21日（木）14：00～ （同趣旨）	和歌山県病院協会 （和歌山県・和歌山 県医師会）	大阪市立大学名誉 教授 上田真喜子	女性医師支援と地域連携	30人
2019年（平成31年） 1月19日（土） 15：15～	和歌山県医師会 （日本医師会）	田邊昇弁護士	裁判例にみるセクハラ・パワハ ラ・ドクハラの臨界点	30人
2020年（令和2年） 2月1日（土）（予定）	和歌山県医師会 （日本医師会）	日本医師会女性医 師支援センター 参与 上家和本子	法律を使える管理者になろう	

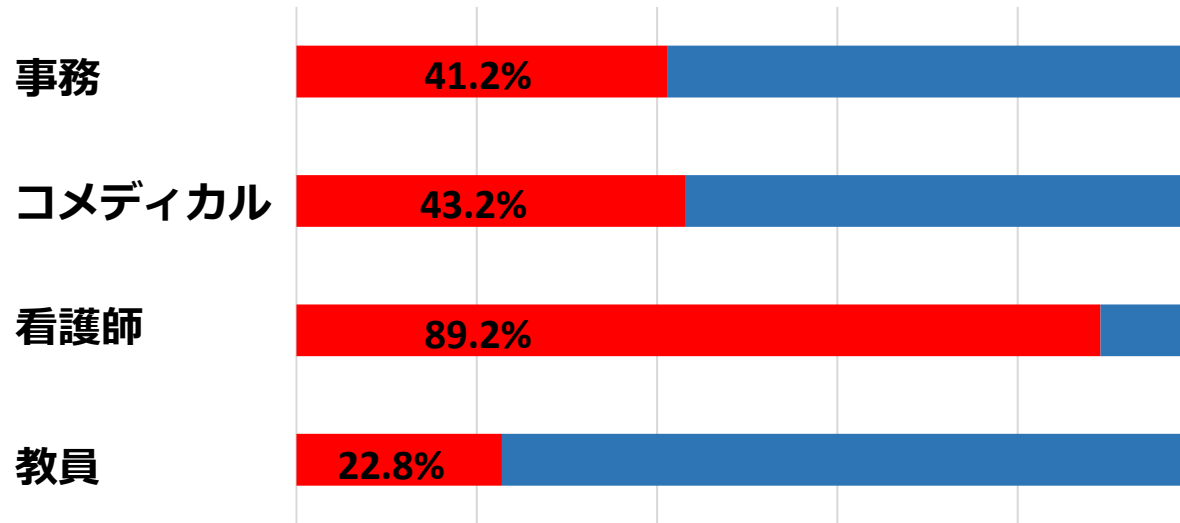
病児・病後児保育について



2019.10.12 和歌山県立医科大学附属病院

一般病床760床と精神科病床40床を合わせた800床の病床

①看護師・医師をはじめ、各職種において女性職員の比率が年々上昇



②女性医療人支援センターから
2017年4月
ワークライフバランスセンターへ

新たな人員体制

- ・ 託児施設の運営
 - ・ 職場復帰支援
 - ・ 女性医師キャリア継続支援
- 充実を図る

和歌山県立医科大学
ワーク・ライフ・バランス
女性医療人支援センター

センター長あいさつ

近年、女性の医療従事者が増加し、その多くの方々にとって、出産・育児と仕事とをいかに両立させるかが大きな課題となっています。両立させるための環境が十分でないため、結婚や出産・育児を機軸に進路する例も珍しくなく、これが深刻な医療従事者不足の原因になっていると考えられます。

これを解消するには、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の視点に立った環境づくりが必要となります。

女性医療従事者がやりがいや充実感を感じながら働き、家庭や地域社会においても様々な生き方を選択し、実現させることが大切です。

本学では、女性医療人支援センターを中心に、女性医療従事者のキャリア形成を支援するため、女性が働き続けられる職場、継続して働ける職場の構築を目指し活動を続けております。今後とも、当センターの取組にご支援、ご協力のおほよろしくお願ひいたします。

平成26年6月1日

和歌山県立医科大学 女性医療人支援センター長 井野 一孝



クレヨン保育園

2000年4月開園 12名

2007年4月 80名に増員

医師、1歳未満子供の保育が可能となった。

2018年4月 100名に



2007年度文部科学省の
「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い
医療人養成推進プログラム」に採択

2008年7月 クレヨン保育園 病児保育室増築
病後時保育開始

2016年6月 仕事と子育て・介護の両立支援に関するアンケート

全正規職員、学内助教、研修医を対象に実施
1398名（回答率81.9%）から回答を得た。

要望：①クレヨン保育園 **病児保育**
②学童保育
③職場環境の課題

2017年4月から開始

定員：3名→2018年4月から4名

病児保育室担当看護師：2名

対象：クレヨン保育園入所児童
（入園時に全員病院IDを取得）

- ①病児保育
- ②病後児保育 回復期
- ③体調不良児保育 保育中に体調不良

病児保育の流れ

保育時間：月～金曜日
午前8時～午後6時

予約受付時間：午前8時～午後6時

①利用前日かかりつけ医を受診して
診察医連絡票持参

Or

②当日救急外来で午前8時～8時30分
小児科診察を受け診察医連絡票持参

診察医連絡票			
(保護者→診察医→病児保育室)			
和歌山県立医科大学附属病院託児施設 クレヨン保育園病児保育室は、安心してお子さんを預けることのできる病児保育を心がけて運営を行っております。つきましては、受診されたお子さんを御高診のうえ、感染症・安全管理体制のために、注意点等につきまして太枠内への記入をお願いいたします。			
お子さんのお名前 様	生年月日 平成 年 月 日	診察時体温 ℃	
既往歴	熱性けいれん 有・無	食事アレルギー 有・無	
※保護者の方へ：先生の診察を受ける前に、お子さんの名前、生年月日、体温、既往歴を記入しておいてください。			
病名			
病名未確定時の症状	1 発熱	2 下痢	3 嘔吐
	4 咳嗽	5 喘鳴	6 発疹
病期	1 急性期	2 回復期	
受け入れできない基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 咽頭結膜熱 ● ムンプス ● 風疹 ● インフルエンザ ● 下痢、嘔吐がひどい ● 呼吸困難がある ● その他、医師により病児保育が不可能と判断 		
合併症出現リスクおよび他児への感染リスク等を配慮し、基準を設けております。 また、医療行為ができないため、全身状態が悪いお子さんはお預かりできませんので、ご了承下さい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 流行性角結膜炎 ● 麻疹 ● 水痘 ● RSウイルス感染症（発熱中） ● 脱水症状 		
病児保育利用の可否	可 ・ 否		
安静度	1 要観察	2 室内安静	
隔離	1 必要	2 不要	
食事配慮	1 必要	2 不要	
注意点、指示			
病児保育利用にあたって上記連絡致します。	和歌山県立医科大学小児科	平成 年 月 日	
	担当医師名		印

病児保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2017年度	7	5	14	25	13	12	11	1	7	1	3	4	103
	7	5	6	7	10	8	9	1	7	1	0	4	65
2018年度	13	4	14	12	22	7	12	15	5	13	1	14	132
	5	1	8	4	16	5	7	15	2	8	0	8	79
2019年度	17	18	25	28	9	14							111
	7	12	15	16	5	14							69

約60%は医師の使用

問題点：

プール熱、流行性角結膜炎、ムンプス、麻疹、風疹、水痘、インフルエンザ、RS、ノロ、ロタウイルス感染症は利用不可としている点（陰圧室でない）

和歌山県における病児・病後児保育に関するアンケート結果

(令和元年7月末実施) (意見に関しては主旨)

I 臨床研修指定病院

【研修医指定病院における状況】

研修指定病院数	9		
	あり	なし	% (あり)
院内保育	9	0	100,0%
病児保育	2	7	22,2%
病後児保育	2	7	22,2%

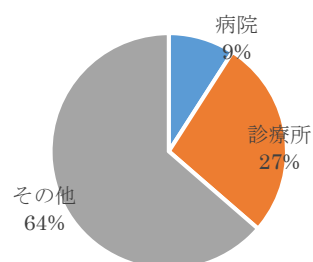
病児・病後児保育に関して

- ①利用人数は月間（延べ人数） 約10人前後
その利用者のうち女性医師は 約5人前後
- ②利用者は（いずれも） 施設職員のみ
- ③病気の治療は（いずれも） 他の病院（医院）の主治医がいる
- ④病気の種類は（いずれも） 特に決めていない
- ⑤インフルエンザが対象かどうかは施設により異なる
- ⑥予約は（いずれも） 電話にて
- ⑦収容人数は（いずれも） 3～4人
- ⑧（意見）採算の問題はあっても働きやすい環境となっている。

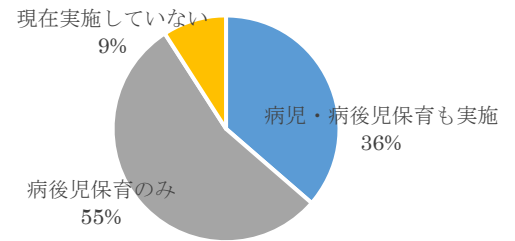
II 研修指定病院以外での病児・病後児保育に関して

1) 対象15施設中回答は11施設 (73.3%)

2) 貴施設は 病院 (1)
診療所 (3)
その他（子ども園など） (7)



- 3) 病児・病後児保育も実施 (4)
 病児保育のみ (0)
 病後児保育のみ (6)
 現在実施していない (1)



病児・病後児保育に関して

- ①利用人数は月間（延べ人数） 11～90人程
 その利用者のうち女性医師は 約16人程度

- ②利用者は
 施設の職員のみ (1)
 一般の方 (3)
 施設職員も一般の方も (6)

- ③病気の治療は
 病気の治療もする (4)
 病気の治療は他の病院（医院）の主治医がいる (6)

- ④病気の種類は
 病気は特定の疾患のみを対象としている (1)
 病気は特に決めている訳ではない (9)

- ⑤インフルエンザ
 対象になる (6)
 対象にならない (4)

- ⑥予約は
 電話にて (9)
 パソコン、スマホにて (1)

- ⑦収容人数は
 2人 4施設 3人 1施設 4人 1施設
 6人 3施設 9人 1施設

⑧（意見）

- ・ 補助金には管理者（医師等）の person cost はなく、利用者も時期による変動があり採算面問題がある。
- ・ 補助金のシステムに問題があると考えられる。
- ・ 利用者が少ない。